

函館工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	日本史	
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0090	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質環境工学科	対象学年	4		
開設期	後期	週時間数	後期:2		
教科書/教材	新選日本史B (東京書籍)				
担当教員	中村 和之				
<b>到達目標</b>					
1.古代・中世・近世・近代の国家と社会や文化について、国際環境と関連づけて理解する。 2.歴史的事象の変化・因果関係を考察し、歴史の展開における諸事象の意味を解釈する。 3.複数の資料を活用し、資料に対する批判的な見方を養う。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	政治史に関連する各種資料を活用し、諸事象を解釈できる。	教科書に記述がある政治史関連の説明・用語を理解できる。	教科書に記述されている政治史関連の説明・用語を理解できない。		
評価項目2	社会経済史の各種資料を活用し、諸事象を解釈できる。	教科書に記述がある社会経済史関連の説明等を理解できる。	教科書に記述されている社会経済史関連の説明・用語を理解できない。		
評価項目3	文化史に関連する各種資料を活用し、諸事象を解釈できる。	教科書に記述がある文化史関連の説明・用語を理解できる。	教科書に記述されている文化史関連の説明・用語を理解できない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
函館高専教育目標 D					
<b>教育方法等</b>					
概要	我が国の歴史展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深め、歴史的思考力を培う科目である。 ・古代・中世・近世・近代の国家と社会や文化について、国際環境と関連づけて理解する。 ・歴史的事象の変化・因果関係を考察し、歴史の展開における諸事象の意味を解釈する。 ・複数の資料を活用し、資料に対する批判的な見方を養う。				
授業の進め方・方法	歴史における諸事象の本質をその歴史的形成・展開の過程の実証的に考察する。それにより、歴史的な見方や考え方を身に付け、国際社会で活躍する日本国民としての自覚と資質を養って欲しい。				
注意点	・授業を受けるにあたり次のことに留意すること。 ・指示された予習・復習については確実に行うこと。 ・レポート等を期限までに確実に提出すること。 JABEE教育到達目標評価：定期試験70% (D-1) 、態度10% (D-1) 、レポート20% (D-1)				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	古代国家の推移と社会の変化①		
		2週	古代国家の推移と社会の変化②		
		3週	中世国家の形成①		
		4週	中世国家の形成②		
		5週	中世社会の展開①		
		6週	中世社会の展開②		
		7週	近世国家の形成と幕藩体制の変容		
		8週	中間試験		
後期	4thQ	9週	明治維新と立憲体制の成立近代		
		10週	国際関係の推移と立憲国家の展開		
		11週	政党政治の発展と大衆社会の形成		
		12週	第1次世界大戦と日本の経済・社会		
		13週	第2次世界大戦と日本		
		14週	冷戦体制と日本		
		15週	現代日本の政治と国際社会		
		16週			
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					
	試験	レポート	態度	態度	合計
総合評価割合	70	20	10	0	100
基礎的能力	60	10	10	0	80
専門的能力	10	0	0	0	10
分野横断的能力	0	10	0	0	10